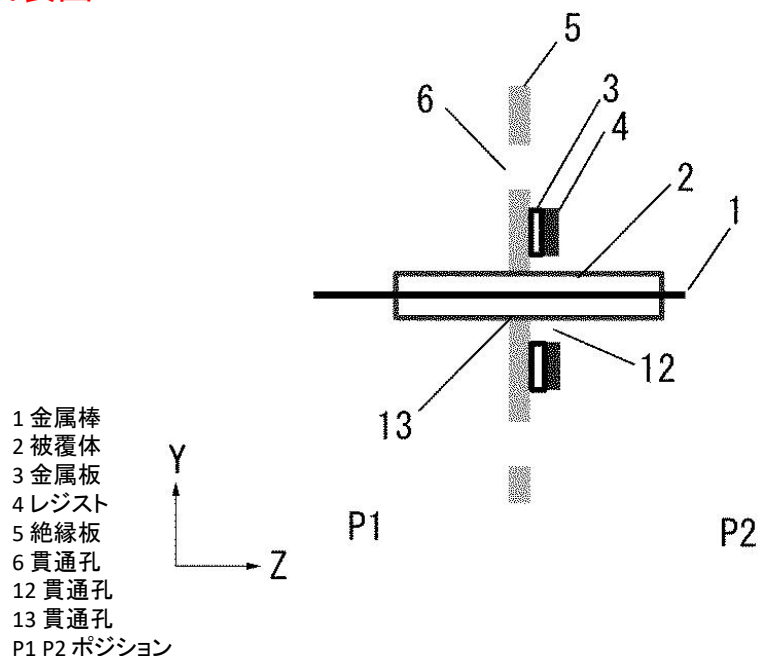


業務用機械

高効率・低コストでイオンやオゾンを発生する装置

発明の名称	イオン及びオゾンの少なくともいずれか一方を発生する装置		
出願人/権利人	株式会社MIRAI	発明者	大塚 寛治、秋山 豊、坪井 敏宏、河西 純一
出願日	令和2年9月30日	出願番号	2020-164384
公開番号	—	特許番号	6806399
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

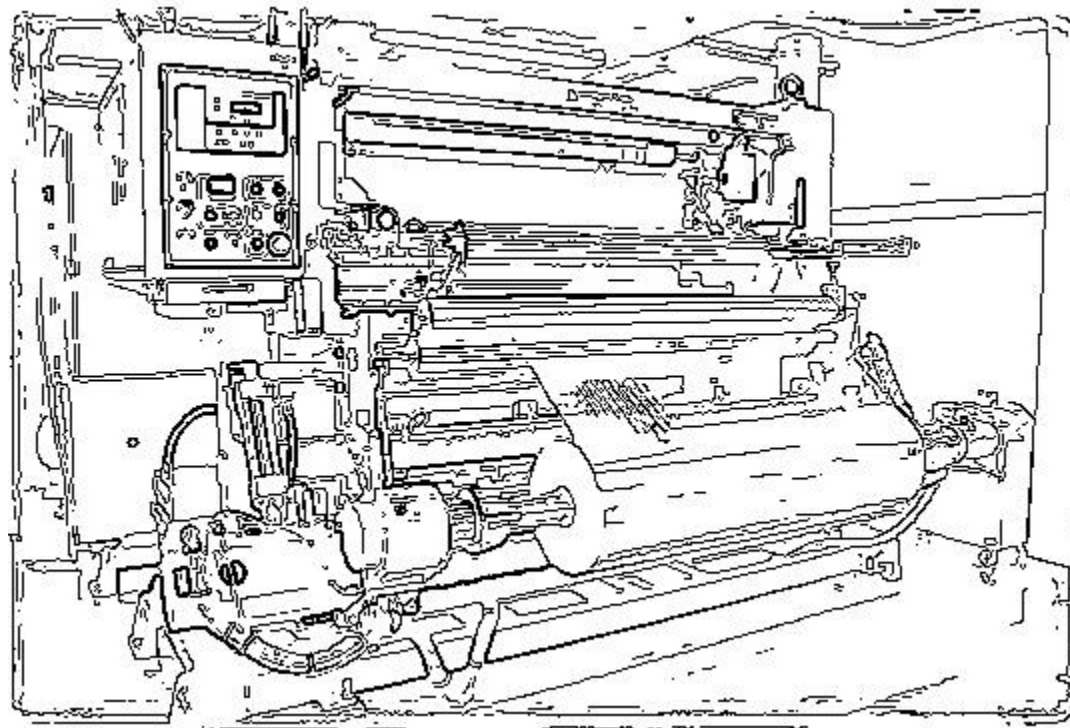
高効率かつ低コストでイオン又はオゾン
を発生させられる装置

特徴

第1の貫通孔を有する金属筒と、第1の貫通孔を貫通する金属棒、第1の貫通孔を貫通し、金属筒と金属棒とを電氣的に絶縁する被覆体を有している。金属筒、金属棒、被覆体が貫通する第2の貫通孔を有する第1の絶縁板と、金属棒及び被覆体が貫通し、被覆体の断面径よりも大きな貫通径を有する第3の貫通孔を有する第1の金属板を有する。金属棒、金属筒、金属棒及び金属板のそれぞれで、互いに異なる特性を有するコロナ放電を発生させられる。コロナ放電に関連して少なくともイオン及びオゾンの少なくともいずれか一方を発生する装置に利用できる。

関連分野

金属半製品、電子部品・素子、印刷



プラスチックフィルム、金属箔等の表面改質

応用の可能性

- ・プラスチックフィルム、金属箔等の表面改質
など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|-----------------|----------------|
| ・凸版印刷株式会社 | ・オムロンヘルスケア株式会社 |
| ・大日本印刷株式会社 | ・株式会社日立製作所 |
| ・トッパン・フォームズ株式会社 | ・日置電機株式会社 |
| ・NISSHA株式会社 | ・キヤノン株式会社 |
| ・共同印刷株式会社 | ・藤倉ゴム工業株式会社 |
| ・株式会社日本創発グループ | ・ソニー株式会社 |
| ・共立印刷株式会社 | ・株式会社JOLED |
| ・朝日印刷株式会社 | ・コニカミノルタ株式会社 |
| ・竹田印刷株式会社 | など |

株式会社MIRAIの本発明に関する最新動向

- ・株式会社MIRAIのホームページ(<http://mirai2003.com/>)には、本件特許に関連する製品および特許情報は見受けられない。